

重点施策	健康な心と体を養うスポーツ活動	評価実施者	所 属	社会教育課
			職・氏名	課長・竹谷和徳

重点施策の概要	目 的	生涯にわたり健康であるため、子どものころから心と体を養うスポーツに親しむとともに、スポーツ大会を通じて人々が集まり交流できる環境づくりを推進する。
	今年度の主要事業	①「たきかわコスモスマラソン」の開催 ②全道・全国のスポーツ大会の誘致 ③國學院大學陸上競技部などスポーツ合宿受け入れ

事業の目標と実績	区 分		単位	H21	H22	H23	特記事項
	1	コスモスマラソン参加者数	目標 実績	人	2,000 1,127	2,000 1,228	
2	コスモスマラソン市民参加者数	目標 実績	人	140 157	160 149	160 231	H24(260人)
3	全国・全道大会開催数	目標 実績	大会	12 12	12 13	13 22	25個人・3団体
4	全国大会出場数	目標 実績	組	10 21	21 11	21 28	
5	スポーツ合宿数	目標 実績	件		30 18	30 15	
6	スポーツ施設利用人数	目標 実績	人		248,700 243,876	248,700 236,520	
7		目標 実績					

事業の分析効果の検証	<p>①コスモスマラソンは、年々参加者が増加し、市民ランナーの数も増加している。</p> <p>②各スポーツ団体との連携により、全道大会の開催誘致に取り組み、平成23年度は22の全道大会を開催した。また、全国大会出場者も28組(内小学生11個人、中学生4個人、高校生9個人・3団体、一般1個人)と目標を上回った。</p> <p>③東京箱根間往復大学駅伝競走で出場シード権を獲得した「國學院大學陸上競技部」の合宿の受け入れは、スポーツ合宿誘致の取り組みだけでなく、地元の子どもたちへ直接指導の機会を得ることができた。しかし、合宿数は3.11大震災の影響などもあり、目標の半分15件という結果になった。</p>
------------	---

課題	<p>①コスモスマラソンは、現在のコースでは増加する参加者の安全が確保できないため、新コースの設定に取り組んでいるが、安全確保のための警察の対応や人の手配がどこまで可能か、更に詰めていく必要がある。</p> <p>②、③大会及び合宿誘致のためには、野球場や陸上競技場など各競技場の整備が必須課題である。</p>
----	---

評価	A	<p>評価の視点1 期待どおりの効果があったか スポーツ振興だけでなく、経済活性・観光振興の観点からも一役かっており、滝川市を代表するスポーツイベントとして今後の更なる成長が期待できる。スポーツに関するイベント・大会・講演は、いずれも盛会に終わり、また市内選手の活躍も目ざましく、期待どおりの効果があった。</p> <p>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の余地があるか 各事業の質的向上に取り組みながら、継続して事業を進めるとともに、計画的な施設整備に取り組んでいきたい。</p>
----	---	--

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	<p>(財)滝川市体育協会・スポーツ推進委員・各スポーツ団体と連携し、引き続き、市民の体力向上と選手の指導育成の支援を進めたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input checked="" type="checkbox"/> 継続</p>
-----------	--

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	<p>スポーツ大会等の誘致を増やすには、競技施設の更なる充実が必要。あれもこれもではなく、取捨選択し、重点的に整備に取り組むことも必要では。</p>
---------------	--